

MySQL 5.1.70 リリースノート（日本語翻訳）

- **重要な変更; レプリケーション:** `--binlog-ignore-db` でサーバが実行されている状態で、`SELECTDATABASE ()` が `NULL` を返した(つまり、現在選択されているデータベースがない)場合、`dbname.tblname` 形式で完全修飾されたテーブル名を使用するステートメントがバイナリログに書き込まれなかった。これは、このようなケースで現在選択されているデータベースがない場合、`ignore` オプションがないことに対する一致ではなく、あり得る `ignore` オプションに対する一致として処理されるためであった。つまり、このようなステートメントは常に無視されていた。

現在選択されているデータベースがない場合、完全修飾されたテーブル名を使用するステートメントが常にバイナリログに書き込まれるようになった。(Bug #11829838、Bug #60188)

- **InnoDB:** Valgrind テストで、Bug #11753153 の修正によって導入された退化が原因のメモリリークエラーが返されていた。
`dict_create_add_foreign_to_dictionary` 関数は `pars_info_create` を呼び出すが、`pars_info_free` の呼び出しには失敗していた。(Bug #16754901)
- **InnoDB:** Bug #16722314 の修正により、リンカエラーが発生した。(Bug #16798595)
- **InnoDB:** 外部キー制約の識別子の文字の一部がテーブルエクスポート時に変更される。(Bug #16722314、Bug #69062)
- **InnoDB:** ページの読み取り時に `!recv_no_log_write` 表明でクラッシュリカバリが失敗していた。(Bug #16405422)
- **レプリケーション:** `--replicate-*` オプションを使用すると(「[Replication Slave Options and Variables](#)」を参照)、スレーブでメモリリークを招く可能性があった。(Bug #16056813、Bug #67983)

- **レプリケーション:** 関数 `my_b_fill()` が「0」を報告した場合、エラーが発生した可能性があるにもかかわらず、関数 `MYSQL_BIN_LOG::write_cache` が常にキャッシュの終端に達したものと判断したため、バイナリログの内容が破損することがあった。この修正により、`my_b_fill()` が「0」を返した場合は必ず `info->error` でエラーチェックを実行するようになった。(Bug #14324766、Bug #60173)
- 空間操作に対する WKB リーダが失敗し、サーバが終了する可能性があった。(Bug #16451878)
- 外部参照を持つサブクエリを含む `GROUP CONCAT()` 起動で、サーバが終了していた。(Bug #16347343)
- デバッグビルドで、`ORDER BY` 句内の `GROUP CONCAT(... ORDER BY)` でサーバが終了する可能性があった。(Bug #16347426)
- `MIN()` を使用するクエリに対してルーズなインデックススキャンを使用した場合、セグメンテーションエラーが発生する可能性があった。(Bug #16222245)
- `GROUP CONCAT()` と複数のカラムを指定する `ORDER BY` 句を使用するプリペアドステートメントでサーバが終了する可能性があった。(Bug #16075310)
- `ORDER BY MATCH ... AGAINST` でサーバの終了を招く可能性があった。(Bug #16073689)
- パーティションが見つからない場合、`ha_innodb.cc` のコードは 10 回再試行し、`LOCK_open` を保持したまま、その都度 1 マイクロ秒スリープしていた。パーティションされたテーブルの再試行ロジックは Bug #33349 の修正として導入されたが、それを検証するためのテストケースが含まれていなかった。この修正で、パーティションされたテーブルの再試行ロジックが削除される。Bug #33349 でレポートされた問題が再現される場合は、異なる解決策が検討される。(Bug #15973904)
- 複数のサーバが動作している状態で `status` コマンドを実行した場合、エラーが発生し、`mysql.server` スクリプトが終了していた。(Bug #15852074)

- MySQL 5.1 GA ビルド前の古いバイナリログ形式の行ベースのレプリケーションイベントを処理する場合、**mysqlbinlog** でヒープバッファの領域外読み取りとなり、未定義の動作を招く可能性があった。(Bug #14771299)
- インタラクティブモードで各行を読み取ると、その後、**mysql** クライアントは文字列を割り当てるものの、文字列を解放せず、メモリリークが発生していた。(Bug #14685362)
- サブクエリの外部 **BLOB** カラムによるグルーピングで、サーバが終了していた。(Bug #13966809、Bug #14700180)
- **mysql** データベースのヘルプテーブルの **url** カラムが短すぎて、ヘルプコンテキストに一部の URL を収容できなかった。新規インストールの場合、これらのカラムは、長い URL に対応できるよう、タイプ **TEXT** として作成されるようになった。

アップグレードの場合、**mysql_upgrade** はカラム更新しない。ステートメントを使用して手動で変更する。

```
ALTER TABLE mysql.help_category MODIFY url TEXT NOT NULL;  
ALTER TABLE mysql.help_topic MODIFY url TEXT NOT NULL;
```

(Bug #61520、Bug #12671635)

- 最近の **gcc** バージョンでスタックオーバーランのテストが機能せず、サーバの終了を招く可能性があった。(Bug #62856、Bug #13243248)

参考: Bug #42213 も参照。

プリペアドステートメントと非プリペアドステートメントで実行した場合、**IF()** 関数評価で異なる結果が生成される可能性があった。(Bug #45370、Bug #11753852)

※本翻訳は、理解のための便宜的な訳文として、オラクルが著作権等を保有する英語原文を NRI の責任において翻訳したものであり、変更情報の正本は英語文です。また、翻訳に誤訳等があったとしても、オラクルには一切の責任はありません。